

平成21年度 東二番丁小学校 校内研究について

I 研究主題

進んで話し合い学び合う児童の育成

— 「教科を貫く言語力」の育成を目指して —

II 主題設定の理由

- 1 教育改革推進の視点から（「生きる力」をはぐくむ、「伝え合う力」を高める）
- 2 学校教育目標から（かしこく・・・話をよく聴き 進んで学び よく考える子）
- 3 児童の姿から（話せる子と話せない子の差が大きい、話し合いで深まらない）

III 研究の方法と内容

1 研究教科 国語科→各教科等へ

2 研究の方法

(1) 共同研究と個人研究の融合化

- ◆共通の研究主題，研究の視点を受けて，個人ごとの研究推進を中心にする。
- ◆個人研究の内容の共通理解のため，個人研究テーマ発表会（5月），個人研究中間発表会（8月），個人研究発表会（2月）を実施する。
- ◆研究集録に，共同研究の歩みと個人研究論文を掲載する。

(2) 授業力向上へ向けての手だて

- ◆研究授業は個人研究の計画に基づいて行う。
- ◆研究授業の1週間前に模擬授業を実施し，課題を踏まえて研究授業を行う。
- ◆授業検討会は，「研究授業参観シート」にコメントを記入したものを基に，指導力向上のため率直に意見交換が行えるような検討会とする。
- ◆研究授業の学習指導案については，各自の研究の資料として研究集録に掲載する。

IV 研究の経過・計画

4月・・・研究全体会（校内研究の進め方・研究授業計画・研究論文について）

5月・・・個人研究テーマの決定
研究全体会（個人研究テーマ発表会）

5月～7月
・・・学習指導案検討・模擬授業・研究授業・授業検討会

5月 7日（木） 模擬授業（4年国語科）

5月19日（火） 研究授業①（4年国語科）・検討会

5月21日（木） 模擬授業（5年・6年国語科）

5月26日（火） 研究授業②（6年国語科）・検討会

5月28日（木） 研究授業③（5年国語科）・検討会・模擬授業（3年国語科）

6月 4日（木） 研究授業④（3年国語科）・検討会・模擬授業（2年国語科）

6月 9日（火） 研究授業⑤（2年国語科）・検討会・模擬授業（4年国語科）

6月16日（火） 研究授業⑥（4年国語科）・検討会・模擬授業（1年国語科）

6月23日（火） 研究授業⑦（1年国語科）・検討会

6月25日（木） 模擬授業（3年・5年国語科）

6月30日（火） 研究授業⑧（5年国語科）・検討会・模擬授業（4年国語科）

7月 9日（木） 研究授業⑨（3年国語科）・検討会・模擬授業（6年国語科）

7月10日（金） 研究授業⑩（4年国語科）・検討会（センター国語科研修会）

7月14日（火） 研究授業⑪（6年国語科）・検討会・模擬授業（2年国語科）

7月15日（水） 研究授業⑫（5年国語科）

7月16日（木） 研究授業⑬（2年国語科）・検討会

7月23日（木） 研究全体会（個人研究中間発表会・目指す児童像検討）

8月17日（月） 国語科学習指導案検討会

8月25日（火） 国語科学習指導案検討会

9月 2日（水） 研究授業⑭⑮⑯⑰⑱（1～6年国語科）※学校視察

9月10日（木） 研究授業⑳（4年国語科），
模擬授業（3・4年国語科）及び学習指導案検討

9月17日（木） 模擬授業（1・2年国語科）及び学習指導案検討

9月24日（木） 研究授業㉑（5年国語科），
模擬授業（5・6年国語科）及び学習指導案検討

- 10月 5日(月) 国語科学習指導案検討会
 10月 6日(火) 国語科学習指導案検討会
 10月20日(火) 国語科公開研究会・研究授業 22.23.24.25.26.27 (1～6年国語科)
 11月 研究全体会(研究の成果を各教科へ)
 11月19日(木) 模擬授業(4年道徳)
 11月26日(木) 研究授業28(4年道徳)・検討会・模擬授業(5年総合)
 12月 3日(木) 研究授業29(5年総合)・検討会・模擬授業(1年算数)
 12月 4日(金) 模擬授業(6年理科)
 12月11日(金) 研究授業30(1年算数科)・検討会・模擬授業(3年図画工作科)
 12月16日(水) 研究授業31(6年理科)・検討会
 12月17日(金) 研究授業32(3年図画工作科)・検討会
 模擬授業(2年生活科)
 1月15日(金) 研究授業33(2年生活科)・検討会
 1月20日(水) 研究授業34(4年道徳)・検討会
 1月21日(木) 研究授業35(5年総合)・検討会
 1月22日(金) 研究授業36(6年理科)・検討会
 1月27日(水) 研究授業37(3年図画工作科)・検討会
 1月28日(木) 研究授業38(1年算数科)・検討会
 1月29日(金) 研究授業39(2年生活科)・検討会
 2月 4日(木) 個人研究論文執筆
 2月10日(水) 今年度の研究全体についての反省
 2月25日(木) 個人研究論文発表会
 3月 4日(木) 個人研究論文提出
 3月 5日(金) ～3月10日(水) 研究論文・研究集録最終チェック
 3月11日(木) ～3月12日(金) 研究論文・研究集録印刷

V 個人研究テーマについて

- ◇1年
 対話の基礎を身に付け、仲間とともに考えながら主体的に学ぶ児童の育成
 ◇2年
 大事なことを最後まで聞き、聞き手に分かるように話し合う力を身に付けた児童の育成
 ◇3年
 話す・聞くの基本を身に付け、自分の思いや考えを生き生きと表現する児童の育成
 ◇4年
 自分の考えと根拠を明確にし、進んで話し合い考えを深める児童の育成
 ◇5年
 話し合うことを通して、自分の考えを深める児童の育成
 ◇6年
 呼応して話し合い考えを深める児童の育成

VI 全校的な取組について

- ・「話す力・聞く力・話し合う力」の基礎・基本を身に付けさせるために、毎週月曜日の養賢学習にスキル教材を使用し、音読・暗唱・滑舌等の取組を行う。
- ・養賢学習の成果を全校児童の前で発表するために、朗読朝会を行う。
- ・伝統的な言語文化に親しませるため、百人一首やいろはがるた等を行う。
- ・相手意識を高めるために、他学年との交流を意図的・計画的に取り入れる。

VII 実践例(別紙参照)

VIII 研究の成果と課題(○・・・成果, ●・・・課題)

- 言語活動を充実させた授業づくりを実施したことで、生活の中でも「なぜ」「どうして」と聞き返す場が増え、語彙が豊かになり、単語で話す子が少なくなった。
- ペア学習、グループ学習を好み、スムーズにできるようになった。
- 発言が端的になり、理由の中に根拠をはっきりさせながら発言できるようになった。
- 友達のことを聞き自分の考えを深めることができるようになってきた。
- キーワードメモを見ながらスピーチができるようになった。
- 社会科や理科などで考え・理由を整理して書けるようになった。
- 話し方・聞き方・話し合い方の型を示し、系統的に指導していく。
- 各教科等のどの場面でもどのような言語活動が生かせるかを明らかにしていく。

実践例①

第3学年1組 国語科学習指導案

平成21年6月4日(木) 2校時
場所 3年1組教室

- 個人研究テーマ
「話す・聞く」の基本を身に付け、自分の思いや考えを確かに伝え合うことのできる児童の育成
- 研究授業での提案(研究との関連)
【視点1】 学習意欲を高めるための教材・学習活動の工夫
 [だて1] クイズ形式の学習活動を展開することで、児童の学習意欲を高める。
【視点2】 基本話型・基本聴型を活用した効果的な指導の工夫
 [だて2] 基本話型・基本聴型を活用し、自信をもって話す・聞く活動に取り組みさせる。
【視点3】 児童一人一人が考えを深めるための発問の工夫
 [だて3] ヒントの言葉と写真の内容から、考えを深めさせる。
- 単元名 分かりやすく書こう 教材名 「おもしろいもの、みつけた」
- 単元の目標
事柄ごとに段落に分けて書く、事実を正確に書くなど「分かりやすく書く」ためのポイントを知り、見つけたものを友達に知らせて交流する。

5 指導計画(12時間扱い: 4/12本時)

次	時	主な学習内容
1	4	学習内容を知り、見通しをもつ。また、作文を読んだりカードを比べたりしながら、様子の表し方を知る。
2	2	教師が提示した写真についてその様子をカードに書き、文章にまとめる。
3	4	自分が伝えたいものを選び、読み手にしっかり伝わる文章を書く。
4	2	自分が見つけたおもしろいものを紹介する。学習を振り返り、まとめをする。

6 本時の指導

(1) 本時のねらい

○様子を伝えるための文章の書き方を理解する。

(2) 準備物

○文章カードA・B ○基本話型・基本聴型 ○写真(パンダ1・サル4) ○ヒントカード
○学習カード

(3) 指導過程

	主な学習活動	指導事項・留意点
導入 (5分)	1 学習のめあてを確認する。 様子を正しくつたえるには、どのように文章を書いたらよいだろうか。	
展開 (35分)	2 二つの作文を読み、どちらが様子をよく伝えるかを比べる。 ○どちらの作文が、様子を正しく伝えるのに、よい文章だと思いますか? 自分の考えとその理由を発表しましょう。 →A B ○二つの文章を、次の言葉の視点から比べましょう。 [大きさ] ○大きさについての書き方の違いはどうなっているのでしょうか? →A: 大きくて →B: ぼくの足より大きくて [パンダ] ○パンダについての書き方の違いはどうなっているのでしょうか? →A: とてもかわいい	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの作文を黒板に掲示する。 【視点2】 ・基本話型を活用して発表させる。 「私は、□が様子を伝えるのに、よい文章だと思います。理由は、～だからです。」 ・言葉による視点を与えることにより、内容をとらえやすくさせる。 ・「ぼくの足より」という言葉を付け加えることにより具体的な表現になり、様子が伝わりやすくなることを確認する。 ・意見が出にくい場合には、その都度ペア学習を取り入れ、考えさせる。 ・AとBの違いをはっきりさせながら、具体

	<p>→B：木にもたれてすわっています。そして、えさを食べながら、顔をこちらに向けています。</p> <p>○実際の写真を見て確認しましょう。感じたことを書くのと事実を書くのとでは、どちらが正しく伝わるでしょうか？</p> <p>→B 事実</p> <p>3 4枚の写真を見比べながら話し合いを行い、様子を正しく伝えるための文章の書き方を確認する。</p> <p>○ヒントの言葉が、どの写真を説明しているかを当てます。三つのヒントの言葉にぴったり当てはまる写真はどれでしょうか？</p> <p>ヒント① なかよしなサルがいます。 ヒント② なかよしなサルの家族がいます。 ヒント③ なかよしなサルの家族が食事をしています。</p> <p>→答えは、Cの写真です。</p>	<p>的な事実を書くことの大切さを実感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書にあるパンダの写真を掲示する。 文章と写真を見比べながら、様子を伝えるために事実を書くことのよさを確認する。 サルの写真4枚（A B C D）を掲示する。・学習カードを配布する。 <p>【視点1・2・3】</p> <ul style="list-style-type: none"> クイズ形式の問題を取り入れることで、児童の学習意欲を高める。また、答えを求めるための話し合いを必然的に行いながら、考えを深めさせる。 ヒントの言葉と写真の内容から自分がその写真を選んだ理由を、根拠を明らかにして説明させる。（基本話型を活用させる） 「私は、□の写真が言葉に合っているといます。理由は、～だからです。」 様子を伝えるための文章の書き方を、確認する。
<p>終末 (5分)</p>	<p>4 様子が正しく伝わるように、文章を書く。</p> <p>○さらにCの写真の様子が正しく伝わるように文章を書きましょう。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事実を詳しく書いたり何かと比較したり、たとえを使って書いたりしながら、分かりやすく文章を書かせる。 できた作文を発表させる。 授業の中の良かった発表の仕方や話の聞き方を紹介する。

(4) 板書事項

<p>【写真A】 サルとネコ</p>	<p>【写真B】 サルの家族</p>	<p>【写真C】 サルの家族 (食事中)</p>	<p>【写真D】 サルと ぬいぐるみ</p>	<p>大きな A 大き B ぼくの足より大きく</p> <p>パンダ A とてもかわいい B 木にもたれて</p>	<p>B マンホールのふたは</p>	<p>A マンホールは</p>	<p>おもしろいもの、見つけた 様子を伝えるには、どのように文章を書いたらよいだろうか？</p>
<p>(↑学習カードと同じ配置で掲示)</p>				<p>③ ② ① ヒント</p>			

(5) 評価

- 様子を伝えるには、感じたことだけでなく事実を書いた方がよく表せることを理解している。
- 事実を書くためには、よく観察し、よく調べることが大切なことだと理解している。

実践例② 第4学年1組 道徳学習指導案

平成21年11月26日 2校時
場 所 4年1組 教室

1 個人研究テーマ

自分の考えと根拠を明確にし、進んで話し合い考えを深める児童の育成

自分なりの考えをもつ

2 主題名 あきらめないでやりとげる<1-(2)>

3 ねらい

自分でやろうと決めたことに積極的に取り組み、粘り強くやり遂げようとする心情を育てる。

4 言語活動の充実


本時では、登場人物が何度も挫折を繰り返しても、自分の夢の実現に向けて粘り強く努力したことに気付かせるために話し合いを取り入れる。

自分なりの考えを
分かりやすく表現する

5 資料名

「ピート・グレイから学ぶ」(自作資料)

6 展開

段階	学 習 活 動 主な発問と予想される児童の反応	留意点 資料
導入	<p>1 自分の夢について話し合う。</p> <p>あなたの夢や目標は何ですか。夢や目標の実現のために何をしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカー選手。毎日サッカーの練習をしている。 医者になりたい。毎日勉強を頑張っている。 バレーを頑張っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の夢について話し合い、学習への意欲付けをする。
展開	<p>2 資料について話し合う。</p> <p>ピート・グレイという人のお話をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ピートは大リーグに入るとい夢を持ちました。 ○日本のプロ野球は一軍の下に何がありますか。 「二軍」 ○大リーグの下には何がありますか。 「3A」 ○6歳の時、事故に遭い野球を断念しようと思います。そのとき、お父さんがピートにかけた言葉は何だと思いますか。 「あきらめるな。あきらめるな。やればできる」 ○Dリーグの監督がプレーを見に来てくれましたが、どのチームにも入れてもらえませんでした。なぜだと思いますか。 「上手じゃなかった。」 「6歳の時の事故で何かあったのではないか。」 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の写真を見せ、資料に入り込ませる。 大リーグの世界の大変さを日本のプロ野球との比較により理解させる。 
	<p>6歳の時の事故でピートは右腕を失ったのです。ピートは、大リーグへの夢をあきらめたのでしょうか。あきらめなかったのでしょうか。自分の考えと理由をノートに書きなさい。</p> <p>○それでは自分の意見を発表してください。 「ぼくは、あきらめたと思います。どう考えても片腕だけで野球はできないと思います。」 「私は、あきらめないで頑張ったと思います。お父さんが『あきらめるな』と言ったからです。」</p>	<p><言語活動の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> お互いの考えと理由を話し合わせ、ピートが大リーガーになることがいかに大変なことかに気付かせる。

	<p>ピートは一体どうやって野球をやったのだろうか？ 「守備は、右手にグローブを付けて、ボールを捕ったらグローブを外して投げた。」 「右手だけで打った。」 ○ピートは外野手でした。ボールを捕ったらグローブを左の腕の付け根に挟んで素早く右手でつかみ直して投げたのです。 ○話の続きです。ピートはその後、3AでMVPに輝き、大リーグセントルイス・ブラウンズに入団が決まりました。</p>	<p>・具体的にピートがどのようにして野球をしたのかについて考えさせ、努力の大きさに気付かせる。</p>
<p>終末</p>	<p>3 まとめ 夢や目標の実現のためにこれからどうしていきたくですか。ノートに書きなさい。 ○書いたことを発表してください。 「サッカーの試合でミスをしてしまうこともあるけれど、練習してうまくできるようにしたい。」</p>	<p>ピートの努力を自分の夢や目標達成にも生かしていく気持ちをもたせる。</p>

7 評価

- ・ピート・グレイの粘り強くやり遂げようとする気持ちに共感し、自分の夢や目標の実現に生かしているという気持ちをもつことができたか。

8 参考文献／参考サイト／参考講演

①『知ってるつもり?! 1 運をつかんだ努力家たち』（日本テレビ）1991年

②片腕の大リーガー、ピート・グレイ 感動の物語！

< <http://blog.goo.ne.jp/pandagananda16/e/a527e2e4801f2cee19508323c7c013a5> >

③ピート・グレイ（提供：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』）

④ピート・グレイ < <http://www.amstkk.net/petegray.html> >

⑤中学野球は夢探しの入り口 < http://jasistf.at.webry.info/200807/article_6.html >

⑥木下晴弘講演（2004年8月16日フナイミーティング仙台にて）

他者と考えを交流し、再考する